



平成 24 年 12 月 13 日

各位

会社名 コマニー株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚本 幹雄
(コード番号 7945 名証第二部)
問合せ先 取締役管理統括本部長 塚本 健太
(TEL. 0761-21-1144)

(訂正)「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、海外における事業及びそれに関わる取引に関して、不適切な処理が行われたとの疑義が生じたため、平成 24 年 10 月 3 日に当社と利害関係の無い外部有識者のみによる第三者委員会を設置し調査を行い、平成 24 年 10 月 30 日に同委員会より調査報告書を受領しました。

この調査結果を受けて、当社は連結範囲の変更の要否、関連当事者との取引に係る記載の訂正の要否等を検討いたしました。また、これを契機に、中国の連結子会社の売上高計上等の会計処理及び当社の過去の決算における繰延税金資産の回収可能性等の会計処理について再度検討を行い、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 21 年 1 月 30 日付「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 名

上場会社名 コマニー株式会社

コード番号 7945 URL http://www.comany.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 川口 幸一

TEL 0761-21-1144

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	19,178	—	△766	—	△948	—	△1,122	—
20年3月期第3四半期	23,168	△1.5	982	△7.6	1,006	△8.9	570	△12.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	△109.58	—	—	—
20年3月期第3四半期	52.30	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第3四半期	28,520	—	20,788	—	72.8	2,192.79	—	
20年3月期	31,776	—	23,656	—	74.4	2,164.66	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 20,764百万円 20年3月期 23,633百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
21年3月期	—	14.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	△15.3	△400	—	△570	—	△460	—	△44.92

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 10,924,075株 20年3月期 10,924,075株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,454,545株 20年3月期 6,225株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 10,240,257株 20年3月期第3四半期 10,918,223株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や急激な円高、株価の下落等、経済環境が悪化しており、先行きの不透明感が一層深まる状況になっております。

間仕切業界につきましては、鋼材等の価格上昇、販売価格の競争激化等、引き続き厳しい状況が続いております。民間企業が設備投資を控えたこと等から需要が減少し、地方においては地域間の需要格差が一層広がりを見せました。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業による受注の拡大、顧客ニーズに適應する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。しかし、予想を超える経済環境の悪化から先行き不透明感が深まり、建築工事の需要減少等による間仕切市場の縮小や競争激化の影響を受ける結果となり、売上高は191億78百万円(前年同期比17.2%減)となりました。

品目別売上高につきましては、主要品目のハイパーティションが市場縮小の影響を受け26億36百万円減少しました。ハイパーティション以外の品目においても、同様に減少しました。

損益面では、前述の主要原材料の価格上昇等に対して、全社を挙げて原価低減活動に取り組みましたが、売上高の減少に伴う利益の減少を吸収できず、売上総利益率は34.2%(前年同期比2.8ポイント低下)となりました。営業損失は7億66百万円(前年同期は営業利益9億82百万円)、経常損失は9億48百万円(前年同期は経常利益10億6百万円)、四半期純損失は11億22百万円(前年同期は四半期純利益5億70百万円)となりました。

※ 定性的情報に記載されています「前年同四半期の金額」及び「前年同四半期増減率」につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて32億56百万円減少しました。純資産は28億67百万円減少し、自己資本比率は1.6ポイント低下の72.8%となりました。

総資産の増減の主なものは、製品が5億55百万円増加しましたが、現金及び預金が14億33百万円、受取手形及び売掛金が24億54百万円減少しました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は39億54百万円で、前連結会計年度末に比べて14億33百万円減少しました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は1億45百万円となりました。これは主に、減価償却費7億55百万円、売上債権の減少額24億57百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失11億13百万円、賞与引当金の減少額4億39百万円、たな卸資産の増加額8億73百万円、仕入債務の減少額4億71百万円等による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は4億18百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入11億円による増加と、定期預金の預入による支出11億円、有形固定資産の取得による支出1億43百万円等による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は11億61百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入10億円による増加と、短期借入金の純減少額3億9百万円、自己株式の取得による支出14億18百万円等による減少であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月20日に発表いたしました平成21年3月期の業績予想につきまして、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来に関する前提・見通し・計画に基づき修正をいたしました。

詳細につきましては、本日別途発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益が40,724千円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ同額増加しております。

③ 当社については、役員退職慰労金の支出に備えて、内規に基づく連結会計年度末要支給額を計上しておりましたが、平成20年4月25日開催の取締役会において、平成20年6月25日開催の第48回定時株主総会終結時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。

この廃止に伴い、本総会の終結時に在任する取締役及び監査役に対し、内規に基づき、本総会終結時までの在任期間に係る役員退職慰労金を打ち切り支給することとし、具体的な金額、贈呈の時期、方法等は、取締役については取締役会に、監査役については監査役会の協議に一任することが本総会で承認されました。

これに伴い、本総会終結時までの在任期間に係る役員退職慰労金相当額216,200千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,054,762	6,487,766
受取手形及び売掛金	7,539,910	9,994,027
製品	1,330,296	774,510
原材料	733,012	375,441
仕掛品	157,468	196,249
繰延税金資産	549,899	400,674
その他	700,218	243,202
貸倒引当金	△48,832	△34,805
流動資産合計	16,016,736	18,437,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,115,069	3,242,669
機械装置及び運搬具（純額）	1,629,946	1,926,571
土地	3,390,973	3,390,973
その他（純額）	306,833	348,296
有形固定資産合計	8,442,822	8,908,510
無形固定資産		
その他	1,043,610	1,028,037
無形固定資産合計	1,043,610	1,028,037
投資その他の資産		
その他	3,045,414	3,435,083
貸倒引当金	△28,000	△32,000
投資その他の資産合計	3,017,414	3,403,083
固定資産合計	12,503,847	13,339,631
資産合計	28,520,583	31,776,696

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,583,475	2,053,537
短期借入金	208,000	435,000
未払法人税等	6,374	121,321
賞与引当金	271,351	711,208
役員賞与引当金	17,720	24,660
その他	1,742,797	1,589,512
流動負債合計	3,829,718	4,935,239
固定負債		
長期借入金	775,000	—
再評価に係る繰延税金負債	434,956	434,956
退職給付引当金	2,387,713	2,392,089
役員退職慰労引当金	—	262,800
その他	304,650	95,450
固定負債合計	3,902,320	3,185,295
負債合計	7,732,038	8,120,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	7,488,284	8,901,154
自己株式	△1,423,117	△4,205
株主資本合計	20,599,348	23,431,130
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,368	94,515
土地再評価差額金	227,102	227,102
為替換算調整勘定	△91,138	△119,287
評価・換算差額等合計	165,331	202,329
少数株主持分	23,865	22,701
純資産合計	20,788,545	23,656,161
負債純資産合計	28,520,583	31,776,696

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	19,178,036
売上原価	12,609,924
売上総利益	6,568,112
販売費及び一般管理費	7,335,063
営業損失(△)	△766,951
営業外収益	
受取利息	19,655
受取配当金	16,330
受取賃貸料	4,246
その他	46,980
営業外収益合計	87,213
営業外費用	
支払利息	16,398
為替差損	6,372
売上割引	18,403
デリバティブ評価損	187,051
その他	40,505
営業外費用合計	268,731
経常損失(△)	△948,469
特別損失	
固定資産除却損	7,068
投資有価証券評価損	158,452
特別損失合計	165,521
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,113,990
法人税等	7,089
少数株主利益	1,031
四半期純損失(△)	△1,122,111

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,113,990
減価償却費	755,741
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,375
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△46,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△439,857
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,940
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,887
受取利息及び受取配当金	△35,985
支払利息	16,398
有形固定資産除売却損益(△は益)	7,068
売上債権の増減額(△は増加)	2,457,420
たな卸資産の増減額(△は増加)	△873,408
仕入債務の増減額(△は減少)	△471,186
その他	215,770
小計	469,942
利息及び配当金の受取額	34,890
利息の支払額	△14,619
法人税等の支払額	△344,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,100,000
定期預金の払戻による収入	1,100,000
有形固定資産の取得による支出	△143,985
その他	△274,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△418,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△309,800
長期借入れによる収入	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△144,000
自己株式の取得による支出	△1,418,912
配当金の支払額	△289,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,161,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,770
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,433,003
現金及び現金同等物の期首残高	5,387,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,954,762

(追加情報)

(格満林(南京)実業有限公司の売上高計上等)

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社は、中国の連結子会社の売上高計上等の会計処理について再度、検討を行いました。この結果、格満林(南京)実業有限公司の売上高、売上原価、売掛金、棚卸資産、貸倒引当金及び買掛金の計上に関する証憑の一部が保管されていないことなどが判明しました。このため、同社に保管されていた試算表その他の帳簿等をもとに訂正報告書の四半期連結財務諸表を作成しております。なお、同社の売上高、売上原価、売掛金、棚卸資産、貸倒引当金及び買掛金は、四半期連結損益計算書及び四半期連結貸借対照表の中に以下のとおり含まれております。

売上高	502,037千円
売上原価	550,234千円
売掛金	593,275千円
棚卸資産	283,189千円
貸倒引当金	△11,381千円
買掛金	78,772千円

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,620,410	557,626	19,178,036	—	19,178,036
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	55,190	237,514	292,705	(292,705)	—
計	18,675,601	795,141	19,470,742	(292,705)	19,178,036
営業損失(△)	△697,014	△72,301	△769,315	2,364	△766,951

(注) 【定性的情報・財務諸表等】4. その他に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から、棚卸資産の評価基準について、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間における「日本」の営業損失が40,724千円増加しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	7,121,391	7,412,790	<u>8,901,154</u>	△4,205	<u>23,431,130</u>
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△290,757		△290,757
四半期純損失			<u>△1,122,111</u>		<u>△1,122,111</u>
自己株式の取得 ※				△1,418,912	△1,418,912
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計	—	—	<u>△1,412,869</u>	△1,418,912	<u>△2,831,781</u>
当第3四半期連結会計期間末残高	7,121,391	7,412,790	7,488,284	△1,423,117	20,599,348

※ 当第3四半期連結累計期間において、市場から1,448,000株を1,418,570千円で取得いたしました。

「参考」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金 額	百分比
I 売上高	<u>23,168,060</u>	100.0
II 売上原価	14,600,166	63.0
売上総利益	<u>8,567,894</u>	37.0
III 販売費及び一般管理費	<u>7,585,132</u>	32.8
1 運送倉庫料	877,449	
2 報酬、給与、賞与及び手当	<u>3,287,657</u>	
3 賞与引当金繰入額	249,199	
4 役員賞与引当金繰入額	21,230	
5 役員退職慰労金引当金繰入額	36,900	
6 賃借料	<u>350,826</u>	
7 その他	<u>2,761,869</u>	
営業利益	<u>982,762</u>	4.2
IV 営業外収益	<u>74,542</u>	0.3
1 受取利息	<u>12,199</u>	
2 受取配当金	15,428	
3 賃貸料	4,832	
4 その他	42,081	
V 営業外費用	<u>51,178</u>	0.2
1 支払利息	13,650	
2 売上割引	18,960	
3 その他	<u>18,567</u>	
経常利益	<u>1,006,126</u>	4.3
VI 特別利益	238,068	<u>1.0</u>
1 固定資産売却益	91,090	
2 投資有価証券売却益	123,934	
3 違約金収入	23,043	
VII 特別損失	201,710	<u>0.8</u>
1 固定資産売却損	39,788	
2 固定資産除却損	126,649	
3 有価証券強制評価損	35,273	
税金等調整前四半期純利益	<u>1,042,484</u>	4.5
税金費用	470,821	2.0
少数株主利益	<u>667</u>	<u>0.0</u>
四半期純利益	570,995	2.5

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	1,042,484
2 減価償却費	719,152
3 退職給付引当金の増加額	20,300
4 役員退職慰労金引当金の増加額	19,400
5 賞与引当金の減少額	△355,547
6 役員賞与引当金の減少額	△9,440
7 貸倒引当金の増加額	2,955
8 受取利息及び受取配当金	△27,628
9 支払利息	13,650
10 投資有価証券売却益	△123,934
11 有形固定資産除売却益	△91,090
12 有形固定資産除売却損	66,596
13 無形固定資産除売却損	99,841
14 売上債権の減少額	2,794,073
15 たな卸資産の増加額	△451,141
16 仕入債務の減少額	△862,810
17 その他	52,885
小計	2,909,747
18 利息及び配当金の受取額	25,702
19 利息の支払額	△13,291
20 法人税等の支払額	△1,494,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,428,109
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入による支出	△1,100,000
2 定期預金の払戻による収入	1,000,000
3 有形固定資産の取得による支出	△600,913
4 有形固定資産の売却による収入	454,230
5 投資有価証券の取得による支出	△255,099
6 投資有価証券の売却による収入	147,097
7 その他	△641,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△995,959
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増加額	229,950
2 長期借入金の返済による支出	△417,102
3 配当金の支払額	△280,148
4 連結子会社設立に伴う少数株主からの払込による収入	25,057
5 その他	△658
財務活動によるキャッシュ・フロー	△442,902
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	968
V 現金及び現金同等物の減少額	△9,784
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,674,336
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,664,551

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位 千円)

	日本	中国	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	22,715,788	<u>452,272</u>	<u>23,168,060</u>	—	<u>23,168,060</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	54,020	306,061	360,081	(360,081)	—
計	22,769,809	<u>758,333</u>	<u>23,528,142</u>	(360,081)	<u>23,168,060</u>
営業費用	21,750,983	<u>797,981</u>	<u>22,548,964</u>	(363,666)	<u>22,185,298</u>
営業利益又は営業損失(△)	1,018,825	<u>△39,647</u>	<u>979,178</u>	3,584	<u>982,762</u>

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。このため、受注及び販売の状況を品目別に示しております。

(1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高(千円)	受注残高(千円)
ハイパーティション	11,614,133	3,524,307
ローパーティション	1,037,017	80,936
移動パーティション	1,293,948	763,858
トイレパーティション	2,691,291	1,408,501
クリーンルームパーティション	2,290,643	788,565
ドア製品	2,340,039	2,076,621
その他	1,003,886	170,746
合計	22,270,960	8,813,536

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)
ハイパーティション	10,671,557
ローパーティション	1,076,515
移動パーティション	896,317
トイレパーティション	2,024,252
クリーンルームパーティション	2,091,699
ドア製品	1,419,805
その他	997,889
合計	19,178,036

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 いずれの販売先も、販売実績の総額の100分の10未満であるため、相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合の記載を省略しております。



平成21年3月期 第3四半期決算短信

上場会社名 コマニー株式会社

コード番号 7945

URL http://www.comany.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長

(氏名) 川口 幸一

TEL 0761-21-1144

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

平成21年1月30日

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	19,167	—	△769	—	△950	—	△1,123	—
20年3月期第3四半期	23,167	△1.5	983	△7.6	1,005	△8.9	570	△12.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	△109.70		—	
20年3月期第3四半期	52.30		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第3四半期	28,496		20,764		72.9	2,192.79		
20年3月期	31,756		23,634		74.4	2,164.78		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 20,764百万円 20年3月期 23,634百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
21年3月期	—	14.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	△15.3	△400	—	△570	—	△460	—	△44.92

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 10,924,075株 20年3月期 10,924,075株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,454,545株 20年3月期 6,225株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 10,240,257株 20年3月期第3四半期 10,918,223株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や急激な円高、株価の下落等、経済環境が悪化しており、先行きの不透明感が一層深まる状況になっております。

間仕切業界につきましては、鋼材等の価格上昇、販売価格の競争激化等、引き続き厳しい状況が続いております。民間企業が設備投資を控えたこと等から需要が減少し、地方においては地域間の需要格差が一層広がりを見せました。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業による受注の拡大、顧客ニーズに適應する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。しかし、予想を超える経済環境の悪化から先行き不透明感が深まり、建築工事の需要減少等による間仕切市場の縮小や競争激化の影響を受ける結果となり、売上高は191億67百万円(前年同期比17.3%減)となりました。

品目別売上高につきましては、主要品目のハイパーティションが市場縮小の影響を受け26億46百万円減少しました。ハイパーティション以外の品目においても、同様に減少しました。

損益面では、前述の主要原材料の価格上昇等に対して、全社を挙げて原価低減活動に取り組みましたが、売上高の減少に伴う利益の減少を吸収できず、売上総利益率は34.2%(前年同期比2.8ポイント低下)となりました。営業損失は7億69百万円(前年同期は営業利益9億83百万円)、経常損失は9億50百万円(前年同期は経常利益10億5百万円)、四半期純損失は11億23百万円(前年同期は四半期純利益5億70百万円)となりました。

※ 定性的情報に記載されています「前年同四半期の金額」及び「前年同四半期増減率」につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて32億60百万円減少しました。純資産は28億70百万円減少し、自己資本比率は1.5ポイント低下の72.9%となりました。

総資産の増減の主なものは、製品が5億61百万円増加しましたが、現金及び預金が14億48百万円、受取手形及び売掛金が24億40百万円減少しました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は39億20百万円で、前連結会計年度末に比べて14億48百万円減少しました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は1億30百万円となりました。これは主に、減価償却費7億55百万円、売上債権の減少額24億43百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失11億16百万円、賞与引当金の減少額4億39百万円、たな卸資産の増加額8億78百万円、仕入債務の減少額4億71百万円等による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は4億18百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入11億円による増加と、定期預金の預入による支出11億円、有形固定資産の取得による支出1億43百万円等による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は11億61百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入10億円による増加と、短期借入金の純減少額3億9百万円、自己株式の取得による支出14億18百万円等による減少であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月20日に発表いたしました平成21年3月期の業績予想につきまして、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来に関する前提・見通し・計画に基づき修正をいたしました。

詳細につきましては、本日別途発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益が40,724千円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ同額増加しております。

③ 当社については、役員退職慰労金の支出に備えて、内規に基づく連結会計年度末要支給額を計上していましたが、平成20年4月25日開催の取締役会において、平成20年6月25日開催の第48回定時株主総会終結時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。

この廃止に伴い、本総会の終結時に在任する取締役及び監査役に対し、内規に基づき、本総会終結時までの在任期間に係る役員退職慰労金を打ち切り支給することとし、具体的な金額、贈呈の時期、方法等は、取締役については取締役会に、監査役については監査役会の協議に一任することが本総会で承認されました。

これに伴い、本総会終結時までの在任期間に係る役員退職慰労金相当額216,200千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,020,539	6,468,813
受取手形及び売掛金	7,563,069	10,003,265
製品	1,330,296	769,212
原材料	733,012	375,441
仕掛品	157,468	196,249
繰延税金資産	549,899	400,674
その他	687,598	238,391
貸倒引当金	△48,832	△34,805
流動資産合計	15,993,052	18,417,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,115,069	3,242,669
機械装置及び運搬具（純額）	1,629,946	1,926,571
土地	3,390,973	3,390,973
その他（純額）	306,408	348,097
有形固定資産合計	8,442,397	8,908,311
無形固定資産		
その他	1,043,610	1,028,037
無形固定資産合計	1,043,610	1,028,037
投資その他の資産		
その他	3,045,414	3,435,083
貸倒引当金	△28,000	△32,000
投資その他の資産合計	3,017,414	3,403,083
固定資産合計	12,503,422	13,339,432
資産合計	28,496,474	31,756,674

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,583,308	2,053,537
短期借入金	208,000	435,000
未払法人税等	6,374	121,321
賞与引当金	271,351	711,208
役員賞与引当金	17,720	24,660
その他	1,742,720	1,590,911
流動負債合計	3,829,474	4,936,637
固定負債		
長期借入金	775,000	—
再評価に係る繰延税金負債	434,956	434,956
退職給付引当金	2,387,713	2,392,089
役員退職慰労引当金	—	262,800
その他	304,650	95,450
固定負債合計	3,902,320	3,185,295
負債合計	7,731,794	8,121,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	7,488,284	8,902,435
自己株式	△1,423,117	△4,205
株主資本合計	20,599,348	23,432,411
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,368	94,515
土地再評価差額金	227,102	227,102
為替換算調整勘定	△91,138	△119,287
評価・換算差額等合計	165,331	202,329
純資産合計	20,764,680	23,634,740
負債純資産合計	28,496,474	31,756,674

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	19,167,583
売上原価	12,604,588
売上総利益	6,562,995
販売費及び一般管理費	7,332,258
営業損失(△)	△769,263
営業外収益	
受取利息	19,574
受取配当金	16,330
受取賃貸料	4,246
その他	46,980
営業外収益合計	87,131
営業外費用	
支払利息	16,398
為替差損	6,291
売上割引	18,403
デリバティブ評価損	187,051
その他	40,505
営業外費用合計	268,650
経常損失(△)	△950,781
特別損失	
固定資産除却損	7,068
投資有価証券評価損	158,452
特別損失合計	165,521
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,116,303
法人税等	7,089
四半期純損失(△)	△1,123,392

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△1,116,303</u>
減価償却費	<u>755,684</u>
退職給付引当金の増減額(△は減少)	<u>△4,375</u>
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	<u>△46,600</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△439,857</u>
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△6,940</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>9,887</u>
受取利息及び受取配当金	<u>△35,904</u>
支払利息	<u>16,398</u>
有形固定資産除売却損益(△は益)	<u>7,068</u>
売上債権の増減額(△は増加)	<u>2,443,494</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	<u>△878,744</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	<u>△471,293</u>
その他	<u>222,067</u>
小計	<u>454,582</u>
利息及び配当金の受取額	<u>34,808</u>
利息の支払額	<u>△14,619</u>
法人税等の支払額	<u>△344,465</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>130,305</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	<u>△1,100,000</u>
定期預金の払戻による収入	<u>1,100,000</u>
有形固定資産の取得による支出	<u>△143,702</u>
その他	<u>△274,563</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△418,266</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	<u>△309,800</u>
長期借入れによる収入	<u>1,000,000</u>
長期借入金の返済による支出	<u>△144,000</u>
自己株式の取得による支出	<u>△1,418,912</u>
配当金の支払額	<u>△289,260</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,161,973</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>1,660</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△1,448,273</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>5,368,813</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>3,920,539</u>

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,620,410	547,173	19,167,583	—	19,167,583
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	55,190	237,514	292,705	(292,705)	—
計	18,675,601	784,688	19,460,289	(292,705)	19,167,583
営業損失(△)	△697,014	△74,613	△771,627	2,364	△769,263

(注) 【定性的情報・財務諸表等】4. その他に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から、棚卸資産の評価基準について、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間における「日本」の営業損失が40,724千円増加しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	7,121,391	7,412,790	<u>8,902,435</u>	△4,205	<u>23,432,411</u>
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△290,757		△290,757
四半期純損失			<u>△1,123,392</u>		<u>△1,123,392</u>
自己株式の取得 ※				△1,418,912	△1,418,912
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計	—	—	<u>△1,414,150</u>	△1,418,912	<u>△2,833,062</u>
当第3四半期連結会計期間末残高	7,121,391	7,412,790	7,488,284	△1,423,117	20,599,348

※ 当第3四半期連結累計期間において、市場から1,448,000株を1,418,570千円で取得いたしました。

「参考」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金 額	百分比
I 売上高	<u>23,167,905</u>	100.0
II 売上原価	14,600,166	63.0
売上総利益	<u>8,567,738</u>	37.0
III 販売費及び一般管理費	<u>7,584,646</u>	32.8
1 運送倉庫料	877,449	
2 報酬、給与、賞与及び手当	<u>3,287,610</u>	
3 賞与引当金繰入額	249,199	
4 役員賞与引当金繰入額	21,230	
5 役員退職慰労金引当金繰入額	36,900	
6 賃借料	<u>350,705</u>	
7 その他	<u>2,761,551</u>	
営業利益	<u>983,092</u>	4.2
IV 営業外収益	<u>74,533</u>	0.3
1 受取利息	<u>12,191</u>	
2 受取配当金	15,428	
3 賃貸料	4,832	
4 その他	42,081	
V 営業外費用	<u>52,167</u>	0.2
1 支払利息	13,650	
2 売上割引	18,960	
3 その他	<u>19,556</u>	
經常利益	<u>1,005,459</u>	4.3
VI 特別利益	238,068	<u>1.1</u>
1 固定資産売却益	91,090	
2 投資有価証券売却益	123,934	
3 違約金収入	23,043	
VII 特別損失	201,710	<u>0.9</u>
1 固定資産売却損	39,788	
2 固定資産除却損	126,649	
3 有価証券強制評価損	35,273	
税金等調整前四半期純利益	<u>1,041,816</u>	4.5
税金費用	470,821	2.0
四半期純利益	<u>570,995</u>	2.5

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	<u>1,041,816</u>
2 減価償却費	<u>719,150</u>
3 退職給付引当金の増加額	20,300
4 役員退職慰労金引当金の増加額	19,400
5 賞与引当金の減少額	△355,547
6 役員賞与引当金の減少額	△9,440
7 貸倒引当金の増加額	2,955
8 受取利息及び受取配当金	<u>△27,619</u>
9 支払利息	13,650
10 投資有価証券売却益	△123,934
11 有形固定資産除売却益	△91,090
12 有形固定資産除売却損	66,596
13 無形固定資産除売却損	99,841
14 売上債権の減少額	<u>2,791,958</u>
15 たな卸資産の増加額	△451,141
16 仕入債務の減少額	△862,810
17 その他	<u>54,417</u>
小計	<u>2,908,503</u>
18 利息及び配当金の受取額	<u>25,694</u>
19 利息の支払額	△13,291
20 法人税等の支払額	△1,494,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>1,426,857</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入による支出	△1,100,000
2 定期預金の払戻による収入	1,000,000
3 有形固定資産の取得による支出	<u>△600,705</u>
4 有形固定資産の売却による収入	454,230
5 投資有価証券の取得による支出	△255,099
6 投資有価証券の売却による収入	147,097
7 その他	<u>△639,934</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△994,411</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増加額	229,950
2 長期借入金の返済による支出	△417,102
3 配当金の支払額	△280,148
4 その他	△658
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△467,959</u>
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	968
V 現金及び現金同等物の減少額	<u>△34,545</u>
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,674,336
VII 現金及び現金同等物の期末残高	<u>4,639,791</u>

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位 千円)

	日本	中国	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	22,715,788	452,116	23,167,905	—	23,167,905
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	54,020	306,061	360,081	(360,081)	—
計	22,769,809	758,177	23,527,986	(360,081)	23,167,905
営業費用	21,750,983	797,495	22,548,478	(363,666)	22,184,812
営業利益又は営業損失(△)	1,018,825	△39,317	979,508	3,584	983,092

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。このため、受注及び販売の状況を品目別に示しております。

(1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高(千円)	受注残高(千円)
ハイパーティション	11,601,185	3,518,573
ローパーティション	1,037,017	80,936
移動パーティション	1,293,948	763,858
トイレパーティション	2,691,291	1,408,501
クリーンルームパーティション	2,290,643	788,565
ドア製品	2,340,039	2,076,621
その他	1,003,886	170,746
合計	22,258,012	8,807,802

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)
ハイパーティション	10,661,104
ローパーティション	1,076,515
移動パーティション	896,317
トイレパーティション	2,024,252
クリーンルームパーティション	2,091,699
ドア製品	1,419,805
その他	997,889
合計	19,167,583

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 いずれの販売先も、販売実績の総額の100分の10未満であるため、相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合の記載を省略しております。